

# 子供たちの再生

# と希望のひかり

2018年10月28日(曜日) — 11月3日(土曜日・祝日) 9:30-17:00

場所：箕面市立多文化交流センター comm cafe 内 (大阪府箕面市小野原西5丁目2-36)  
主催：箕面市立多文化交流センター (指定管理者：公益財団法人箕面市国際交流協会)



北星学園余市高等学校写真展

# いまを生きる

北星学園余市高等学校写真展

# いまを、生きる

## 子供たちの再生と希望のひかり

2018年10月28日(日曜日) — 11月3日(土曜日)・祝日

時間：9:30-17:00

場所：箕面市立多文化交流センター comm cafe内  
大阪府箕面市小野原西5丁目2-36

料金：入場無料

主催：箕面市立多文化交流センター（指定管理者：公益財団法人箕面市国際交流協会）

### なぜ今、北星余市なのか。 なぜ失ってはならない場所なのか。

本写真展の舞台となる北星学園余市高等学校（以下、北星余市）は1980年代から30年以上にわたり、不登校や高校中退者、ひきこもり経験者を全国から積極的に受け入れてきました。社会的マイノリティとして存在するそれらの困難は、自助努力を求められる中、根本的解決に至らず今日を迎えています。

そうした問題に対し、北星余市では個人の持つ背景を多様性として集団の中で受け止め、人としての成長を促す教育活動が展開されています。“彼らの問題”として物事が片づけられがちですが、その“彼ら”とは“私たち社会”の写し鏡とも言えるのではないのでしょうか。多様性は彼らの中でなく私たち個々人の中にもあるものです。

存続問題に揺れる北星余市の取り組みから多文化共生の視点、地域における多様な場を持つことの重要性について、あるいは私たちを取り巻く社会状況について、参加者と一緒を考える写真展、パネルトークを開催します。

### オープニングトークイベント

10月28日(日曜日) 13:30-16:00

場所：箕面市立多文化交流センター講座室

参加  
無料

13:30-14:30 講演、DVD上映



北星学園余市高等学校  
教員  
田中亨

14:30-16:00 パネルトーク、質疑応答

写真集「いまを、生きる」を制作した元在校生の山田恵理子さんの姉・淳子さん、実際に写真撮影をされたカメラマンの戸澤さん、卒業生の保護者の梁井さん、卒業生の太田さんに登壇いただきます。北星余市に通う子どもたちの成長を、多様な立場と多角的な視点からお話いただきます。



多言語通訳あり

事前申し込み必須 / 10月21日締め切り

### 北星学園余市高等学校

北海道余市町にある全日制普通科高校。全国から生徒が集まり、8割が町民が受け入れる下宿で生活。不登校等、困難を抱える子供たちを受け入れている。「人は集団の中で育つ」をテーマに生身の人間同士の教育活動を展開している。

少子化等より生徒数が激減。存続の危機にあり、来年4月入学者数が条件を満たさなければ廃校となる。今年2月、存続を願う有志が写真集「いまを、生きる」を発刊し、西新宿で写真展を開催。本写真展では写真集に掲載されている子供たちの様子や余市の風景など、撮影協力した戸澤裕司カメラマンと写真部生徒の作品を展示する。

### アクセス

バス停  
「多文化交流センター前」  
下車すぐ

大阪府箕面市  
小野原西5丁目2-36

箕面市立多文化交流センター内



### 写真集

## いまを、生きる 北星学園余市高等学校

発行者：山田恵理子

出版日：2018年3月8日

撮影：戸澤裕司

定価：1,500円

編集：山田淳子

撮影協力：北星学園余市高等学校写真部  
北星学園余市高等学校

病気のため、北星余市高校を退学した発行人の山田恵理子が個人の貯蓄を費やして作成した写真冊子です。「自分が救われた北星余市を存続させるため、いまの子供達の姿を写真で見て欲しい」という想いから写真冊子の製作は始まりました。化学物質過敏症で闘病生活を送る山田恵理子の代わりに姉の山田淳子が編集に携わり、この企画に賛同してくださった戸澤裕司カメラマンをはじめとする友人らの協力で発行にこぎつきました。戸澤裕司カメラマンと北星学園余市高校写真部の子供達が撮影した写真、北星余市のいまが詰まっています。

